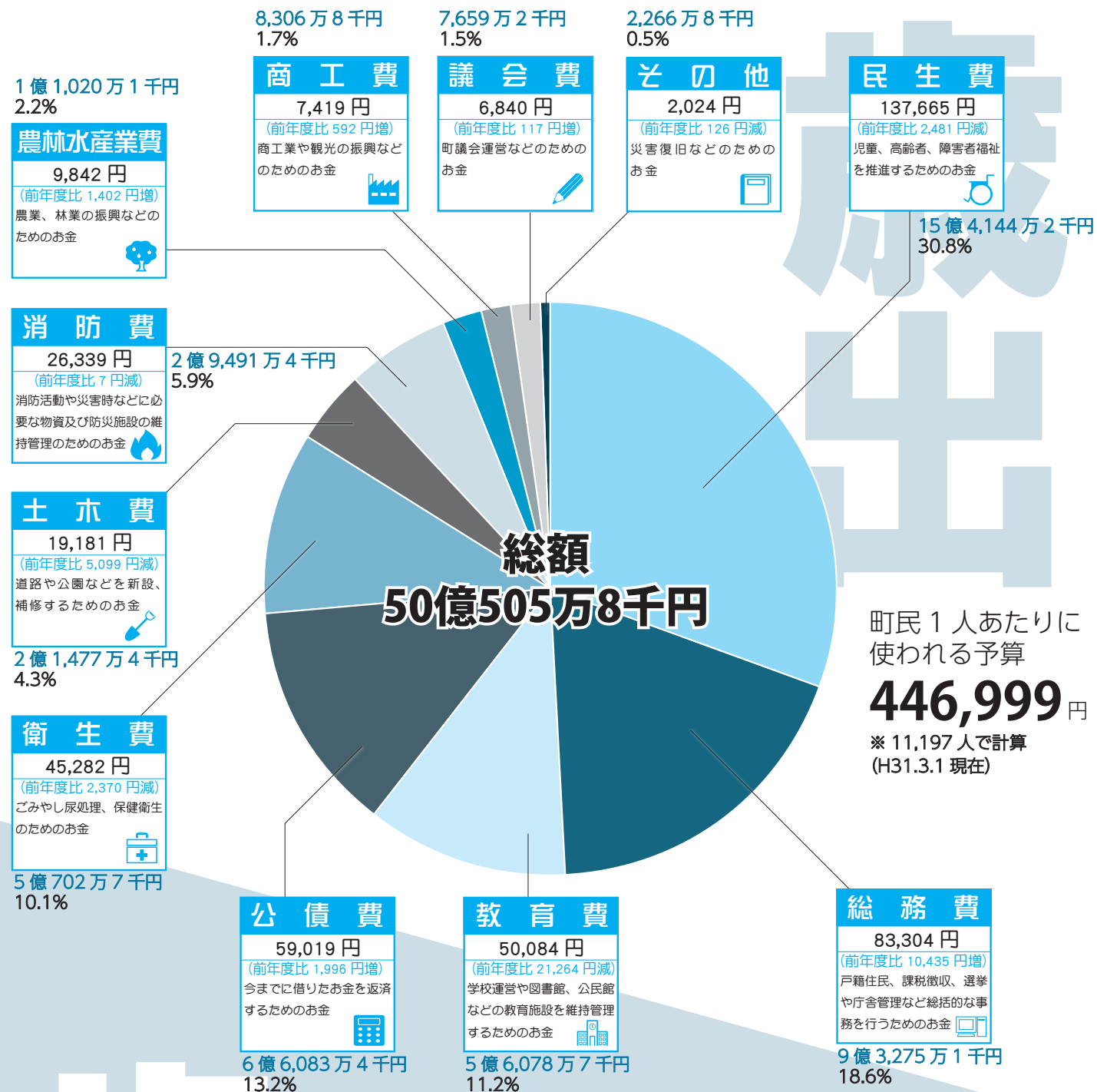


予算と事業

平成 31 年度当初予算が 3 月議会で可決されました。
 今月は、その予算と事業の概要についてお知らせします。



平成 31 年度の一般会計当初予算の総額は、50 億 505 万 8 千円で、平成 30 年度の 53 億 821 万 4 千円と比較して、3 億 315 万 6 千円（△5.7%）の減額となります。その主な理由は、体育施設の大規模改修工事が昨年度に完了したことや、道路橋梁工事の減少などによるものです。

平成 31 年度は、「子どもたちが元気に暮らせるまちづくり」「健康長寿のまちづくり」「ときがわ版総合戦略」「安全で安心できるまちづくり」「計画的な行政運営」を重点施策として取り組みます。

「子どもたちが元気に暮らせるまちづくり」として、引き続き家庭から保育園・幼稚園、学校と必要なところに必要な支援を切れ目なく行うことで、子どもたちがきらきらと輝けるまちづくりを進めていきます。

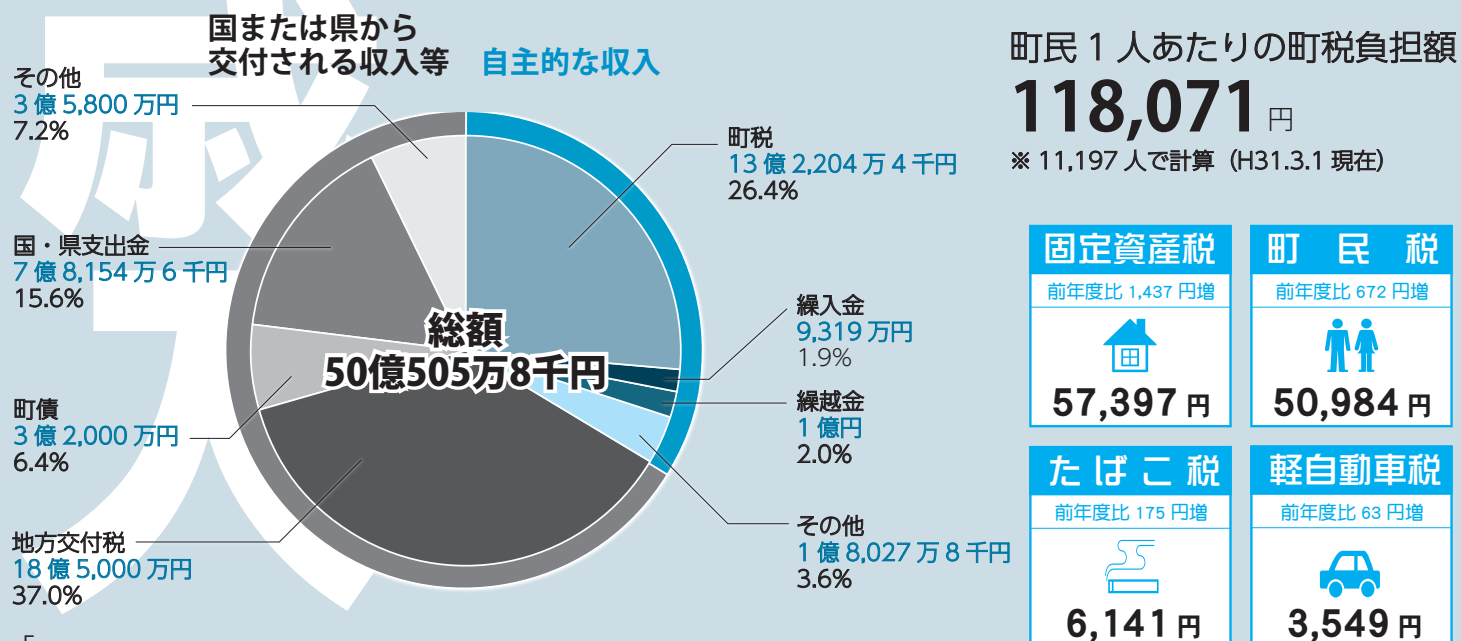
「健康長寿のまちづくり」として、誰もが、高齢になっても精神的にも身体的にも健康で充実した暮らしをしたいと思うことは自然な願いであり、町をあげて心と体の健康長寿の取り組みを積極的に推進してまいります。特に平成 31 年度は新たに食を通じての健康

をテーマに、保育園給食の充実と高齢者の虚弱予防の為に食の改善に取り組んでまいります。

「ときがわ版総合戦略」として、若い世代や子育て世帯がときがわ町を選択し、転入と定住を促すまちづくりを進めていきます。そのために、ときがわ町の良さを感じていただくことが重要であり、先人が残してくれた素晴らしい資源に磨きをかけ発信していきます。

「安全で安心できるまちづくり」として、日頃から災害に備えることにより防災・減災力の強化に取り組んでまいります。特に今年度は全町挙げての防災訓練の実施により、自助・共助の取り組みを確認してまいります。また、交通事故や犯罪がなく、生命財産が守られる、誰にとっても安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進します。

最後に「計画的な行政運営」として、合併による優遇措置も残すところあと 2 年となり、その規模も縮小するなかで、引き続き「ときがわ町財政運営計画」に基づき、持続可能な財政運営を目指して、行財政改革に取り組んでまいります。



用語の解説

- ◆ 一般会計 地方公共団体の行政運営の基本的な経費を計上した会計
- ◆ 特別会計 地方公共団体が特定の事業を行う場合、特定の歳入を特定の目的の歳出に充て経理する必要がある場合、一般会計とは区分して収支経理を行う会計
- ◆ 地方交付税 国が地方公共団体に対して、国が徴収した税金の一部を、使い道を指定せずに交付するもの
- ◆ 国・県支出金 国・県が地方公共団体に対して、使い道を指定して交付するもの
- ◆ 繰越金 前年度の収入と支出の差額を繰り越すもの
- ◆ 繰入金 基金や他会計から収入するもの
- ◆ 町債 町が借り入れるお金
- ◆ 合併算定替 新町の普通交付税について、合併後 10 年間に限り合併前の旧 2 村ごとに算定した額の合算額とする算定の特例。11 年目以降は 5 年間で段階的に縮減され、合併後 16 年目で特例は終了する。